資料２－２
議題2－(2)

令和3年度　自立支援型地域ケア会議活動実績

令和4年1月末現在

開催目的	虚弱高齢者を担当する介護支援専門員等が作成したアセスメントやケアプランを元に，本人の「やってみたい」を実現させるためにどのような働きかけが可能か，専門的知見から協議・助言し，本人の目標達成に向けて行動変容に繋げるためのケアプランに変更していく。 介護予防ケアマネジメントの質の向上を目指すとともに，個別事例を通じ身近な地域における生活課題を見出し解決することを目的に実施する。
実施主体	呉市地域包括支援センター・呉市
対 象 者	要支援認定者又は事業対象者で，特に筋骨格系に課題があり，生活機能の改善の可能性がある方
助 言 者	医師，歯科医師，薬剤師，看護師，管理栄養士，リハ職，生活支援コーディネーター
令和2年度に把握した課題	アセスメント不足で自立支援に向けた効果的なケアが実践されていない。 ・介護予防サービス計画に具体的な目標が設定されていない。 ・活用可能な資源の情報が不足しているため，限定的な支援内容になっている。
令和3年度に取り組んだ内容	・高齢者の生活課題を明らかにし，自立支援，介護予防・重度化防止に資する介護予防ケアマネジメント力及びケアプランの質の向上のための研修を実施 ・口腔機能向上検討委員会にて市民向けチラシの作成 ・短期集中予防サービスについての理解と効果的な支援の実践方法を学ぶ研修を実施 ・高齢者の介護予防・地域の通いの場立ち上げ支援のため，各地域包括支援センターに介護予防支援専門職を配置
改善効果	・高齢者の自己実現に向け，自立に向かうケアプラン目標の設定を学ぶことができた。 ・地域の通いの場の立ち上げに注力することができた。

	中央	天応・吉浦	昭和	宮原・警固屋	東部	川尻・安浦	安芸灘	音戸・倉橋	計
回数	2	2	1 (R4.3実施)	2	1 (R4.3実施)	2	2	2	16(R3年度中)
検討事例数（新規）	4	4	2	5	2	4	4	3	28
検討事例数（継続）	2	2	2	3	1	6	3	0	19

令和3年度に把握した課題	・身近に通える場や外出先の不足。 ・運動実施場所の不足から閉じこもり，筋力・意欲低下につながる可能性がある。 ・自立支援や生活機能改善に資するサービスが適切にケアプランに位置づけられていない傾向がある。 （背景）ケアマネジャーが他の専門職の助言を受ける関係性づくりが出来ていない。 本人及びケアマネジャー等の口腔や食事に関する認識が不足
対応方針	・通いの場等の創設の強化 ・ケアマネジメント力の向上に対する研修 ・口腔・栄養に関する研修の実施 ・口腔機能向上に向けた市民向けチラシを配布 ・短期集中予防サービスの利用促進，実施事業所の拡大 ・インフォーマルサービスの見える化を行い，利活用するための勉強会を実施 ・地域包括支援センターが担当圏域内のケアマネジャーを指導するためのスキルアップ